

「いじめ」は人間として絶対に許されない！

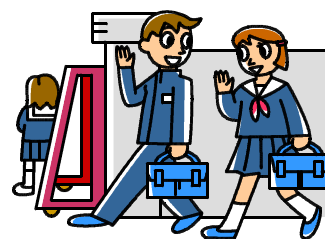
「いじめ」とは、心理的、物理的な攻撃を受けた本人が「いじめ」られていると感じたら「いじめ」です。

「いじめ」は、**人権侵害**です。

チェックしてみてください。

お子さんは…

- 友達をばかにしたり、友達に強い口調で話したりすることがある。
- 「ウザい」「キモい」「チクリ」などという言葉をよくつかう。
- 話しかけても、無視をしたり、その場からいなくなったりする。
- お金をよく使うようになったり、新しい持ち物が急に増えていたりする。
- パソコンや携帯電話のメールを頻繁にチェックしたり交信したりしている。



『うちの子に限ってまさか』は禁物です。

上のシートを使ってチェックをしてみてください。チェックが入ったなら『うちの子に限ってまさか「いじめ」なんて!』と思うのではなく、お子さんが不満やストレスを抱えていないか、たくさん話をしてあげてください。

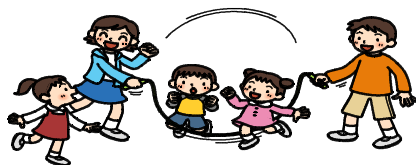
「いじめ」は恥ずかしい行為であり、人の命をも奪うもの！絶対にさせない！

「いじめ」をする子は、何らかの不満やストレスを抱えています。そして、もしもお子さんが「いじめ」をしているというのであれば、“絶対にやめさせる”という、保護者としての信念を示してあげてください。お子さんが、周りではやしたてたり、見て見ぬふりをしている傍観者であるならば、「いじめ」を止めさせる勇気を与えてあげてください。

「いじめ」をいち早く見つけるために！

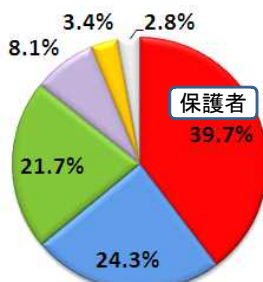
「いじめ」は見ようとしないと見えません。

大人は、常にアンテナを張り、子どもたちのサインにいち早く気づくことが求められます。右の資料からも分かるように、「いじめ」を発見しているのは、保護者が一番なのです。

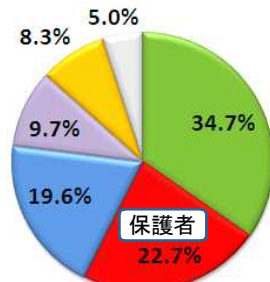


「いじめ」発見のきっかけ

■保護者 ■担任 ■本人 ■他の生徒 ■他の教師 ■その他



小学校



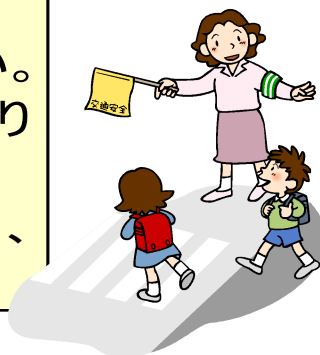
中学校

文部科学省調査

チェックしてみてください。

お子さんは…

- 登校時間になると、体調不良を訴えることがよくある。
- 持ち物(学用品や所持品)がなくなったり、壊されたりしている。
- 学校のことや友達のことを話したがない。
- ささいなことで怒ったり、家族に八つ当たりしたりすることが多くなった。
- パソコンや携帯電話のメールを気にしたり、見た後に落ち込んだりすることがある。



子どもを最後まで守り抜く。

もしも「いじめ」の実態に気づいたら、迷わずに行動を起こして下さい。まず、本人の話をしっかりと聴いてあげて下さい。そして、味方であることを伝え安心感を与えてあげて下さい。次に、学校と連携して問題の解決にあたって下さい。学校に相談しにくい場合は、関係機関に相談して下さい。

朝倉市教育委員会では、「いじめは人間として絶対に許されない!」「いじめから子どもを最後まで守り抜く」という確固たる姿勢をもって、取組を進めていきます。

お子様のことで、気になることがあればご相談下さい。



朝倉市教育委員会教育課

0946-22-2333

朝倉市教育支援センター（教育相談）

0946-22-3399

こどもホットライン24（24時間受付）

0942-32-3000

【北筑後教育事務所内】